

今週のモーニングセミナー報告

令和5年6月28日(水)の講話 <第946回>

テーマ:「運命自招(因果の法則)」

講師:(一社)倫理研究所 法人局 参事 法人アドバイザー 二川正志 様

(松浦清貴 会長) 昨日の20周年記念講演ではDVDが作動しなくて冷や汗が出ました。富士高原研究所でのサンダルを履いて研修をした経験、履物の大事さを学びました。それまで斜めに見ていました。伊勢神宮の研修でも五十鈴川で水業も忘れられない体験でした。昨夜に続き本日、児島さん東さん初めてご参加いただきありがとうございました。これからもよろしくお待ちしております。

(二川 正志 法人アドバイザー) 『普及の意味』と題して~20周年講演:最初『職場の教養』が欲しくて倫理法人会に入会、香川県に倫理法人会まだなかった。津島さんに見いだされ、高松市・丸亀市・高松東と開設にかかわる。高松東から分封する形で東かがわ市の開設準備にかかわった。高松東の会員でスタートして進めていたら、「いつまでも高松の人に頼ってたらいかん~」と声が上がリ、心に火が付いた。それが東かがわ市のスタートでした。普及活動の中に実践が始まっている。普及の意味は、自分がどの程度理解しているか試されている。生成発展と統一衰退の説明。「動いた奴の勝ち」普及でも仕事でもくじけそうになる日々があった、動かなかったら何も形にならない~ 実践の大切さを語っていただきました。『運命自招(因果の法則)』と題して、倫理塾卒業生が育っています~若い人がもっと動かないかん~。①人はなからず死ぬんです。突然死ぬんです。今この一瞬をどう生きるにかかっている。それは死生観を持つか持たないか?生きる意味を掴めますか?死ぬ身でありながら、今日一日を生きる。10条:生きることは、働くことである、存在自体が働きである。サッカーのポジションに例えて分かり易く説明。チルチルミチルの青い鳥を探しに行ったが、青い鳥は家にいた。因果の法則:善因善果・悪因悪果・自因自果。 因一縁 →果。の説明。縁に出会わなければ何も始まらない。三毒(貧欲・怒・グチ)愚痴ってというのが大変な役で。人のせいにする。会社や政治のせいにする。自己成長の機会を無くす。自分の責任を認め動きが悪いからサッカーでもパスをもらえない、気付いて行くとコロナ過の不況時にもチャレンジして好成績の事業をしているところはある。本当に大事なことをやらずに、不自由な世界に生きる意味は、いろんな目に出会い、魂は磨かれる、磨いていったら次のレベルへ行ける。頑張っても欲で動く欲の分だけ差し引かれる。自分の心と行動が変わらなければ変わらない。因果応報を分かり易くご講話していただきました。

担当者:赤山 芳隆

昨日の東かがわ市倫理法人会20周年記念講演会に引き続き、モーニングセミナーでも講話をしていただきました。昨日は20年前の東かがわ市倫理法人会立ち上げについてのこと、第一回モーニングセミナーについて話されました。今朝は運命自招についての講話でした。成功するかしないかは行動するかしないかだ。行動しないと結果は出てこない。サッカーでもおなじでボールに触るのは5分くらいだが触ってないときに動いてパスをもらいにいくかである。人のせいにはいけない、環境のせいにはいけない、苦しいコロナ過のなかでも売り上げを伸ばしている会社もある。私は倫理塾でも二川塾長に指導をしていただき身が引き締まりました。自分の意志、責任で行動を起こしやっと思いまして。20周年記念講演を二川さんにおねがいしてよかったと思いました。ありがとうございました。

会長:松浦 清貴

出席社数 20社 20名

連絡事項

(モーニングセミナー)

日時:7月5日(水)6:00~7:00

テーマ:「親子の愛」

講話者:(一社)倫理研究所 法人局 法人レクチャラー 米田均 様

会場:南新町自治会館

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp